

令和4年(2022年) 9月13日(火) 13962号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
ヴィレッジリバー南森町3階E号
TEL: 06-6353-7831
FAX: 06-6353-7832
MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
WEB: https://home.nikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
6か月 38,880円 6か月 46,200円



亜鉛建値は3,000円引き上げ 50万5,000円

9月の月内建値平均は51万700円

三井金属鉱業は12日、電気亜鉛建値を3,000円引き上げの50万5,000円にすると発表、同日より実施した。9月の月内建値平均は51万700円。

10日に入電した直近のLME亜鉛相場前場売値は3,222.50ドル。12日の東京市場の米ドルTTSレートは143.82円。この値で換算した採算価格は、46万3,400円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万1,600円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2022年

4月...	571(1)	592(6)	598(11)	628(14)	652(20)	625(25)	平均612.6
5月...	571(9)	532(12)	517(17)	529(20)	532(26)		平均535.5
6月...	562(1)	565(7)	562(10)	532(15)	526(20)		平均543.6
7月...	484(1)	466(6)	484(11)	469(14)	472(20)		平均474.3
8月...	508(1)	511(4)	532(9)	562(17)	544(22)	559(26)	平均537.0

9月... 547(1) 502(6) 505(12)

平均510.7

中小企業活性化「パッケージNEXT」を策定 経産省

経済産業省はこのほど、経済環境の変化を踏まえた中小企業の資金繰り支援を拡充するとともに、収益力改善・事業再生・再チャレンジを促す総合的支援策を加速させるため、今年3月公表の「中小企業活性化パッケージ」を発展させ「中小企業活性化パッケージNEXT」を策定した。

資金繰り支援の拡充は、ポストコロナへの段階的移行を図る観点から、事業再構築などの前向きな取り組みに対する資金需要に応えるため、伴走支援型特別保証の限度額を引き上げる。また、日本政策金融公庫による実質無利子・無担保融資と商工中金などによる危機対応融資は、今年9月末で終了するが、同公庫などのスーパー低利・無担保融資は2023年3月末まで継続し、貸付限度額も引き上げる。併せて借換保証など、中小企業の返済負担軽減策を検討する。

収益力改善など総合的支援は、支援実務指針の策定や、中小企業基盤整備機構が出資する再生ファンドの組成を促す優先分配スキーム創設などにより強化を図る。また、飲食業・宿泊業支援専門窓口の設置、信用保証協会と中小企業活性化協議会による連携協定の締結、サテライトでの相談対応などを行う。

中でベースメタルの価格一覧を公表しており、本紙でも紹介する。

非鉄金属市況7月

ベースメタル価格一覧

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(細野哲弘理事長)は、非鉄金属市況・需給動向7月(既報)の

		銅		亜鉛		ニッケル		金		プラチナ		パラジウム		
		LME現物 (US\$/t)	LME現物 (US\$/t)	LME現物 (US\$/t)	AM・PM平均 (US\$/oz)	AM・PM平均 (US\$/oz)	AM・PM平均 (US\$/oz)	AM・PM平均 (US\$/oz)						
本報告期	期初	7,975.5	3,125.0	21,650.0	1,796.6	879.0	1,915.0							
	期末	7,800.5	3,351.0	22,050.0	1,756.1	893.5	2,098.0							
	最高値	8,036.0	3,351.0	22,685.0	1,807.7	893.5	2,150.5							
		7月4日	7月29日	7月4日	7月4日	7月29日	7月11日							
	最安値	7,000.0	2,921.0	19,100.0	1,695.8	834.0	1,867.0							
		7月15日	7月15日	7月15日	7月21日	7月14日	7月20日							
	平均	7,529.8	3,097.2	21,483.3	1,737.6	870.7	1,972.6							
先物 (7月29日)	3か月	7,792.0	3,262.0	23,030.0	-	-	-							
	Dec 23	7,770.0	2,905.0	23,350.0	-	-	-							
	Dec 24	7,765.0	2,645.0	23,575.0	-	-	-							
	2022年 (当年)	期初	9,660.0	3,602.0	20,730.0	1,810.3	969.0	1,881.0						
期末	7,800.5	3,351.0	22,050.0	1,756.1	893.5	2,098.0								
最高値	10,730.0	4,528.0	42,995.0	2,023.0	1,150.0	3,177.0								
	3月7日	4月19日	3月7日	3月8日	3月8日	3月7日								
最安値	7,000.0	2,921.0	19,100.0	1,695.8	834.0	1,816.5								
	7月15日	7月15日	7月15日	7月21日	7月14日	6月14日								
平均	9,435.4	3,725.1	26,793.4	1,854.5	976.9	2,180.8								

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶

www.kimura-metal.co.jp

QRコード


木村金属株式会社

06-6552-7840

大阪市大正区

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



8月のアルミ概況および9月の見通し (2)

予想レンジ

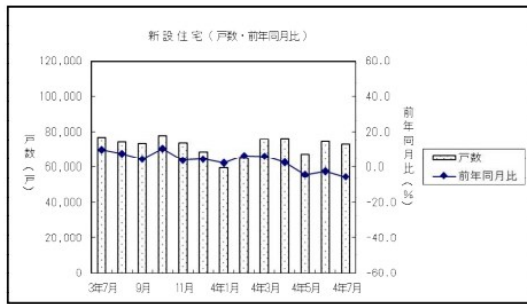
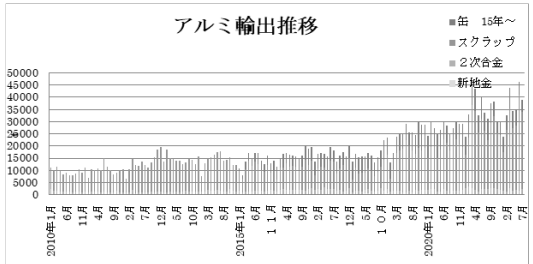
LME 現物後場買い 2,200-2,500ドル ●

スクラップ 0~+5円 (前月最終価格より) ●

為替 135円~145円 円安

(1か月間TTM)

輸出	5月	6月	7月
新地金	126 t	93 t	180 t
前年比	-3.1%	-22.5%	+11%
二次合金	1718 t	1681 t	2108 t
前年比	+37.8%	-23.7%	-5.6%
スクラップ	2万6593 t	3万9388 t	3万1683 t
前年比	-9.6%	+37.2%	+32.4%
缶	6664 t	5122 t	4963 t
前年比	-3.2%	-43.1%	-32.4%



出典 国土交通省統計

出典 財務省貿易統計

◆輸入

新地金	-15.1%	11万1172 t
二次合金	-8.3%	7万306 t
スクラップ	+41.8%	431 t
合金スクラップ	+14.1%	5545 t

輸入	5月	6月	7月
新地金	12万4829 t	13万712 t	11万1172 t
前年比	+7.18%	-15.1%	-15.1%
二次合金	8万9968 t	9万2040 t	7万306 t
前年比	-2.7%	+4.6%	-8.3%
スクラップ	605 t	685 t	431 t
前年比	+102.3%	+9.8%	+41.8%
合金スクラップ	8227 t	7480 t	5545 t
前年比	+133.7%	+65%	+14.1%

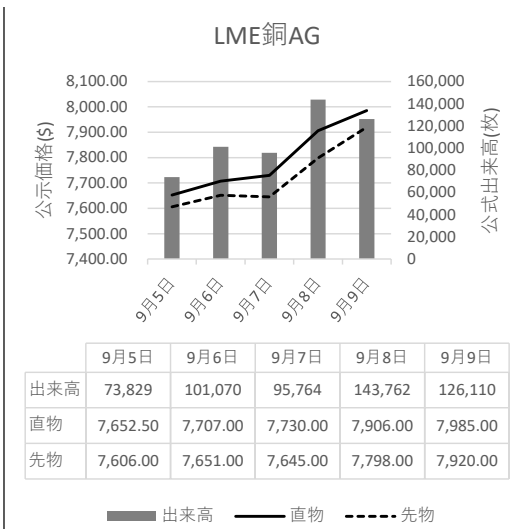
(次号につづく)

■貿易指標

◆輸出

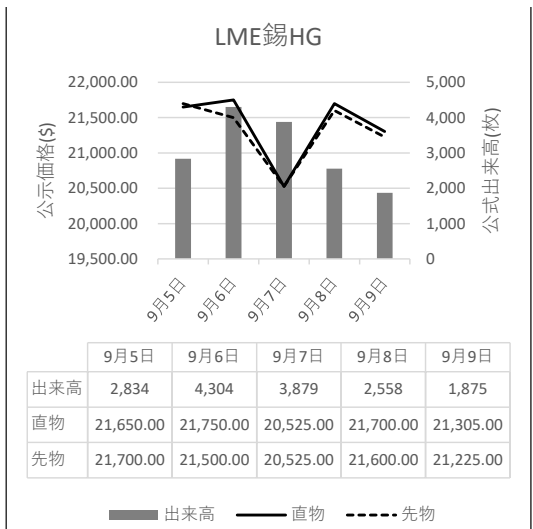
新地金	+11%	180 t
二次合金	-5.6%	2108 t
スクラップ	+32.4%	3万1683 t
アルミ缶	-32.4%	4963 t

✓ LME公式値週間推移 9月5日~9月9日(現地)



nikkankinzoku.co.jp

PW nikkin202209



※ 9月9日の出来高は速報値です。

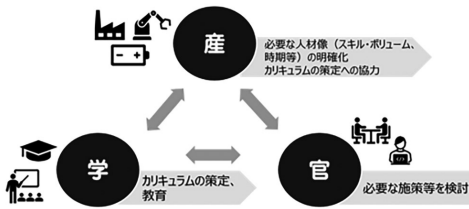


経済産業省 (062) 蓄電池産業戦略検討官民協議会 戦略としての人材育成へ ~関西蓄電池人材育成等コンソーシアムを設立~

カーボンニュートラル実現のカギとなる技術の一つ「蓄電池」。その市場が急激に拡大していきな... 経済産業省の蓄電池産業戦略検討官民協議会はこのほど、最終の「蓄電池産業戦略」をとりまとめ、その目標をみざして、蓄電池関連産業が集積している関西エリアで、産業界、教育機関、自治体、支援機関などが参画する「関西蓄電池人材育成等コンソーシアム」を設立した。

同協議会では、官民などの関係者が問題意識を共有し、日本の蓄電池産業界が再び競争力を取り戻すための方策を議論してきた。戦略では、蓄電池製造の基盤確立に向け、国内外における製造能力の確保や、実現に必要な資源量の目安、蓄電池人材の育成・確保などの目標を提示している。概要は、(1) 液系リチウムイオン蓄電池の製造基盤の確立=遅くとも30年までに蓄電池・材料の国内製造基盤150GWh/年の確立、(2) グローバルプレゼンスの確保: グローバル市場では、30年に日本企業が製造能力600GWh/年を確保、(3) 次世代電池市場の獲得: 30年頃の全固体電池の本格実用化、30年以降の技術リーダーの地位の維持・確保する。

この目標を達成するための具体的な取り組みとしては、①国内基盤拡充のための政策パッケージ、②グローバルライセンスとグローバルスタンダードの戦略的形形成、③上流資源の確保、④次世代技術の開発、⑤国内市場の創出、⑥人材育成・確保の強化、⑦国内の環境整備強化という方向性をまとめた。



関西蓄電池人材育成等コンソーシアムの関係図

「関西蓄電池人材育成等コンソーシアム」は…

人材育成では、電池製造で計約22万人、材料などサプライチェーン全体で計約3万人の人材を育成・確保する計画も掲げている。コンソーシアムでは、こうした蓄電池に係る人材の育成・確保のため、産学官が抱える現状と課題を共有したうえ、みざすべき人材像を具現化するとともに、必要な取り組みの議論を深める。

具体的には、工業高校や高専などでの教育カリキュラムの導入や、産総研などにおける教育プログラムなどを24年度を目途に本格的に開始できるよう、22年度末に一定の結論を出す予定。22年度は、2回程度のコンソーシアム本学会の開催、さらに、より具体的な取り組みを検討し、ユー



関西蓄電池人材育成等コンソーシアム発表会

スペースを創出するためワーキングを複数回実施する。その後、議論・検討内容を踏まえ、産学官の各々に求められる役割や今後の取り組みの方向性をとりまとめた報告書を公開する。事務局は、近畿経済産業局と一般社団法人電池工業会(BAI)、一般社団法人電池サプライチェーン協議会(BASC)が担っていく。

蓄電池産業戦略検討官民協議会のメンバー

〈電池メーカー〉小川哲司 エリパワー代表取締役社長兼COO/好田博昭 プライム・プラネット・エナジー&ソリューションズ代表取締役社長/只信一生 電池サプライチェーン協議会(BASC)会長・パナソニックエナジー代表取締役社長執行役員/谷本秀夫 京セラ代表取締役社長/利根川謙 村田製作所上席執行役員/高岡聡彦 東芝電池事業部事業部長/松本昌一 エンビジョンAESC グループCEO/村尾修 電池工業会(BAI)会長 GSユアサCEO 〈部材メーカー〉 田中勝也 住友金属鉱山執行役員電池材料事業本部本部長/石井義人 昭和電工マテリアルズ執行役員・モビリティ事業本部本部長/犬伏悟 日亜化学工業専務取締役/龍本丈平 三菱ケミカルグループ・執行役エグゼクティブバイスプレジデント/松山博圭 旭化成上席執行役員・スペシャルティソリューション事業担当補佐(セパレータ事業担当) 〈関連業界〉 大津啓司 自動車工業会環境技術・政策委員会委員長(本田技研工業執行役常務)/高本学 日本電機工業会(JEMA)専務理事/中桐功一朗 auエネルギーホールディングス株式会社代表取締役社長/平岩芳朗 送配電網協議会理事・事務局長 〈有識者〉 秋池玲子 ポストコンサルティンググループ・マネージング・ディレクター&シニア・パートナー/佐藤彦 名古屋大学未来社会創造機構客員教授/橋本和仁 国立研究開発法人科学技術振興機構理事長/原田文代 日本政策投資銀行常務執行役員 〈事務局〉 伊吹英明 経済産業省近畿経済産業局局長/村尾修 電池工業会(BAI)会長/只信一生 電池サプライチェーン協議会(BASC)会長

関西蓄電池人材育成等コンソーシアム参画組織

■産業界: Panasonic ENERGY, prime planet, GS YUASA, BASC, 電池工業会, LIBTEC, 関西経済連合会. ■教育機関: 京都大学, 大阪大学, 大阪公立大学, 近畿大学, 兵庫国立大学, 大阪公立大学上高等学校. ■自治体・支援機関: 府県(福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県), 政令市(京都市、大阪市、堺市、神戸市), 産総研, NEDO, nite, 文部科学省, 経済産業省. 事務局: 近畿経済産業局、BAI、BASC

故銅市況

前週末10日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の7,906.00ドルより79.00ドル高の7,985.00ドル。直物の終値は、前営業日の7,919.00ドルより5.00ドル高の7,924.00ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,798.00ドルより122.00ドル高の7,920.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,810.50ドルより46.00ドル高の7,856.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の12月限は、前営業日の352.70セントより4.10セント高の356.80セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の10月限は、前営業日の6万0,960元より1,320元高の6万2,280元。

週明け12日の東京為替市場TTSレートは、前週末の144.81円より0.99円の円高ドル安、1ドル=143.82円。10日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,985.00ドル。この値と12日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の118万2,000円より4,000円高の118万6,000円。この日、電気銅建値は119万円に据え置かれた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円) (9月9日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が918~923、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは883~888、並銅は848~858、込銅（高品位=約97%）は838、セパは695~700。コーペルは要り用筋で636、それ以外は621ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋646、それ以外616~626どころの値頃。並青銅鋳物削粉は742~747どころ。

小口市市中相場（1トン前後）では、ピカ線が898~918、上銅新くずが863~883、普通上銅が838~858、2号銅線が830~850、並銅が828~848、込銅（94-97%）が776、込銅（90-93%）が778、下銅が439~489、セパが660~695、コーペルが576~621、黄銅棒地が571~616、黄銅削粉が566~611、黄銅ラジが531~539、交叉ラジが484~541、黄銅銅鋳物が483~490、送りが282~301、上青銅鋳物が739~759、並青銅鋳物が719~734、上青銅鋳物削粉が734~754、並青銅鋳物削粉が709~729どころ。

為替動向

9日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0090ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0040ドル~1.0050ドルで推移した。ECBは8日の理事会で大幅な利上げを決定、今後も利上げを継続する方針を明らかにした。先行きの不透明感がやや後退、持ち高調整のユーロ買いドル売りが優勢になった。英ポンドも対ドルで上昇。同じく0.0100ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.1580ドル~1.1590ドルで推移した。英国政府の物価対策が景気下支えになるとの観測からポンド買いドル売りが優勢になった。

9日のニューヨーク外国為替市場で円相場は4営業日より反発した。前日と比べ1.45円の円高ドル安、1ドル=142.60円~142.70円で取引を終えた。この日、岸田首相と黒田日銀総裁が急激な円安について協議。会談後、黒田日銀総裁は急激な為替変動を「好ましくない」と述べ、円売りの持ち高を減らす動きが広がった。海外市場も円高ドル安の流れを引き継いだ。ただ、ニューヨーク市場の取引開始後、円は伸び悩んだ。市場では現時点の日本政府による為替介入は見込みにくいとの見方が根強く、FRBも9月のFOMCで3会合連続の0.75%利上げを決める見通しで、円売りドル買いが続くと観測が円相場の重荷になった。

12日早朝の東京外国為替市場で円相場は下落した。8時30分、前週末17時と比べ0.30円の円安ドル高、1ドル=142.65円~142.66円で推移した。一時は142.75円近辺まで下落。前週末にFRBの高官が相次いで金融引き締めに積極的な姿勢を示したことで日米金融政策の相違を改めて意識、円売りドル買いにつながった。円は対ユーロでは小幅ながら上昇。同じく0.09円の円高ユーロ安、1ユーロ=143.62円~143.65円で推移した。前週、ECBの大幅な利上げを受け円売りが膨らんだことから持ち高調整の円買いユーロ売りが入った。

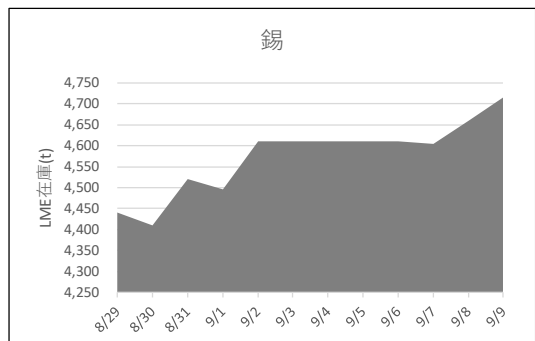
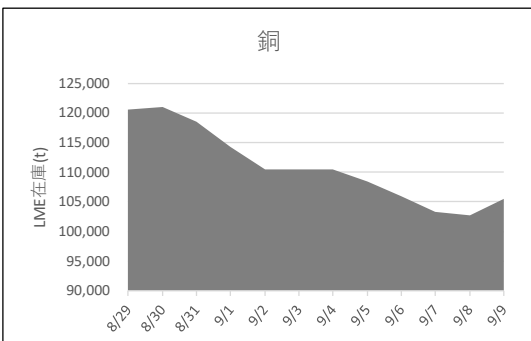
非鉄金属全般・金属リサイクル 新棒コロ・砲金・銅滓 株式会社 高田商店

代表取締役 高田 晋 善

〒544-0001 大阪市生野区新今里 7-10-26

TEL06-6753-1643 Fax06-6753-4545

LME認定倉庫在庫量推移 8月29日~9月9日(現地)





LME銅相場は続伸 エネルギー価格高騰による供給不安が背景
COMEX銅相場も続伸 SHFE銅相場も大幅に上伸
LME非鉄相場はほぼ全面高 ニッケルは約4%反発



10日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、9月9日入電の7,906.00ドルより79.00ドル高の7,985.00ドル。5営業日の続伸で5.25%高。この週5.25%の上伸。9月に入って3.42%の上伸。3か月物の前場売値は、9月9日入電の7,798.00ドルより122.00ドル高の7,920.00ドル。2営業日の続伸で3.60%高。この週5.36%の上伸。9月に入って2.84%の上伸。LME公認倉庫の銅在庫は、現地9月8日の10万2,725トンより2,725トン増の10万5,450トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、9月限が、9月9日入電の353.60セントより4.50セント高の358.10セント。2営業日の続伸で4.16%高。この週4.66%の上伸。9月に入って1.78%の上伸。10月限は、9月9日入電の353.40セントより4.30セント高の357.70セント。2営業日の続伸で4.07%高。この週4.56%の上伸。9月に入って1.65%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、9月限が、9月9日入電の6万1,490元より1,680元高の6万3,170元。2営業日の続伸で3.05%高。この週4.93%の上伸。9月に入って1.12%の上伸。中心限月に当たる10月限は、9月9日入電の6万0,960元より1,320元高の6万2,280元。反発して2.17%高。この週4.08%の上伸。9月に入って0.55%の上伸。

錫は反落

LME錫相場の前場売値は、直物が、9月9日入電の2万1,700.00ドルより395.00ドル安の2万1,305.00ドル。反落して1.82%安。この週1.82%の下落。9月に入って9.72%の下落。3か月物の前場売値は、9月9日入電の2万1,600.00ドルより375.00ドル安の2万1,225.00ドル。反落して1.74%安。この週0.12%の下落。9月に入って7.82%の下落。LME公認倉庫の錫在庫は現地9月8日の4,660トンより55トン増の4,715トン。

鉛は上伸

LME鉛相場の前場売値は、直物が、9月9日入電の1,888.00ドルより30.00ドル高の1,918.00ドル。反発して1.59%高。この週1.48%の上伸。9月に入って1.64%の下落。3か月物の前場売値は、9月9日入電の1,894.00ドルより30.50ドル高の1,924.50ドル。2営業日の続伸で1.77%高。この週2.04%の上伸。9月に入って1.31%の下落。LME公認倉庫の鉛在庫は現地9月8日の3万7,350トンより600トン減の3万6,750トン。

亜鉛は続伸

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、9月9日入電の3,192.00ドルより30.50ドル高の3,222.50ドル。2営業日の続伸で1.62%高。この週2.48%の上伸。9月に入って8.97%の下落。3か月物の前場売値は、9月9日入電の3,161.00ドルより34.50ドル高の3,195.50ドル。2営業日の続伸で2.09%高。この週2.88%の上伸。9月に入って7.51%の下落。LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地9月8日の7万7,275トンより250トン減の7万7,025トン。

アルミも続伸 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、9月9日入電の2,256.00ドルより24.00ドル高の2,280.00ドル。2営業日の続伸で2.22%高。この週1.26%の下落。9月に入って3.74%の下落。3か月物の前場売値は、9月9日入電の2,268.00ドルより22.00ドル高の2,290.00ドル。2営業日の続伸で2.32%高。この週0.48%の下落。9月に入って2.84%の下落。LME公認倉庫のアルミ在庫は現地9月8日の30万9,025トンより2万6,250トン増の33万5,275トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、9月9日より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。9月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、9月9日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。9月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、9月9日入電より横ばいの2,223.00ドル。この週2.59%の下落。9月に入って4.30%の下落。3か月物の前場売値は、9月9日入電より横ばいの2,250.00ドル。この週1.19%の下落。9月に入って2.81%の下落。

ニッケルは反発

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、9月9日入電の2万1,400.00ドルより800.00ドル高の2万2,200.00ドル。反発して3.74%高。この週9.90%の上伸。9月に入って4.45%の上伸。3か月物の前場売値は、9月9日入電の2万1,405.00ドルより895.00ドル高の2万2,300.00ドル。反発して4.18%高。この週10.62%の上伸。9月に入って4.60%の上伸。LME公認倉庫のニッケル在庫は現地9月8日の5万3,850トンより294トン減の5万3,556トン。



LME公示価格(US\$)／9月9日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,985.00	21,305.00	1,918.00	3,222.50	2,280.00	1,760.00	2,223.00	22,200.00
	前営業日比	79.00	▲ 395.00	30.00	30.50	24.00	0.00	0.00	800.00
	週間増減比	5.25%	▲ 1.82%	1.48%	2.48%	▲ 1.26%	0.00%	▲ 2.59%	9.90%
先物	公示価格	7,920.00	21,225.00	1,924.50	3,195.50	2,290.00	1,760.00	2,250.00	22,300.00
	前営業日比	122.00	▲ 375.00	30.50	34.50	22.00	0.00	0.00	895.00
	週間増減比	5.36%	▲ 0.12%	2.04%	2.88%	▲ 0.48%	0.00%	▲ 1.19%	10.62%

海外非鉄金属相場

(9月10日 入電・現地 9月9日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 錫HG, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 鉛, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: アルミHG, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: アルミ合金, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: ニッケル, 現物, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 9月限, 10月限, 11月限, 12月限, 1月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 1865.0 (▲5.0), 1877.5 (30.0).

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35 - 257.35, 353.35 - 357.35.

ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), etc. Values: 1713.40 (4.05), 13000 - 13850, etc.

KLTM錫(MYR/KG, 出来高トン)

Table with columns: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, etc. Values: (9日), (12日), 3.7600, 4.5030, etc.

LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配. Rows: (9/12), (3:00AM現地). Values: 銅 7,842.0 - 7,845.0, 錫 -, 鉛 1,929.5 - 1,932.0, etc.

上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 9月限 63170 18820 24860 14950 183780, etc.

※12日のKLTMは取引がありません。

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Values: 7985, 21305, 1918, 3223, 2280, 22200, etc.

非鉄金属製品相場

(9月12日調べ)

(キログラムあたり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1500	1445	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1550	1495	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	1630	1645	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	1650	1645	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	1560	1555	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	1410	1415	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1465	1460	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 30.5~32.4
銅線0.9ミリ	1490	1475	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 83.8~89.1
銅帯6×50	1420	1415	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 207~220
銅平角線	1690	1645	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1250	1260	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1580~1376
〃 0.3ミリ	1280	1290	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2430~2585
黄銅大板2×1×2	1400	1440	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4082~4340
黄銅管	1740	1740	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2566~2723
復水器用黄銅管	1710	1710	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3572~3791
黄銅棒快削25ミリ	1020	1060	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	1050	1090	貴金属(一般小口向け)			3C×2 125-128
四角棒	1080	1120	白金(グラム)	◆	4541	4C×2 168-172
鍛造用	1060	1100	パラジウム(グラム)	◎	11209	6C×2 237-243
ネーバル	1160	1200	金(グラム)	◆	8714	7C×2 271-278
高力	1160	1200	銀(キログラム)	◎	99220	合金鉄 7月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1425	1440	レアメタル輸入価格	7月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 274
黄銅平角線ロール仕上	1625	1650	金属ケイ素(99.99%未満)	470		〃 その他 367.2
黄銅条1.5×100	1245	1275	モリブデン酸化物	3929		フェロシリコン55%以上 344
リン青銅板一般用1.0ミリ	2520	2710	タンタル	62949		フェロクロム4%以上炭素含有 317.3
〃 バネ用0.3ミリ	2770	2970	マグネシウム	574		フェロモリブデン純分60%以上 4007
リン青銅棒25ミリ	2680	2890	コバルト	11130		フェロバナジウム 4218
リン青銅線3ミリ	2980	3190	インジウム	29633		フェロニッケル33%未満 995.7
洋白板一般用1.0ミリ	3530	3680				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3700	3860				

減 摩 合 金	9月1日改定	銅 合 金 地 金	9月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4525	BC 1種	1215
2種	4400	2種	1535
3種	4270	3種	1615
4種	3760	6種	1295
5種	3595	7種	1425
7種	1320	YBSC 3種	1095
8種	1165	LBC 3種	1560
9種	995	PBC 2種	1635



非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(9月12日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 43,000(1)				
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場					
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値			
1 号 銅 線	1062	1062	電 気 銅	◆ 1141	◆ 1136	◆ 1143	◆ 1138	山元建値	電気銅	1190(9)	金	7,891(12)
2 号 銅 線	1020	—	電 気 亜 鉛	◎ 476	◎ 470	◎ 476	◎ 470	() 実施日	電気鉛	339(8)	銀	88,670(12)
上 銅 (新 切)	1033	1030	蒸 留 亜 鉛	◎ 464	◎ 458	◎ 464	◎ 458		電気亜鉛	505(12)	錫(99.99%)	4,450(7)
雑 ナ ゲ ッ ト	892	890	再生ダイカスト亜鉛2種	◎ 382	◎ 376	◎ 382	◎ 376					
並 銅	975	959	再 生 亜 鉛 (98%)	◎ 331	◎ 325	◎ 331	◎ 325					
下 銅	956	930	電 気 鉛	311	308	311	308					
銅 削 粉	950	933	再 生 鉛 1 号	294	284	292	287					
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	299	295	297	293					
新 切 黄 銅 セ バ	832	828	錫 1 号	3300	3250	3300	3250					
コ ー ベ ル	795	786	ア ン チ モ ン	2000	1950	2000	1950					
黄 銅 棒 地	783	774	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	3200	3150	3200	3150					
黄 銅 削 粉	777	770	コ バ ル ト	8900	8600	8900	8600					
並 黄 銅	667	653	セ レ ニ ウ ム	3100	2900	3100	2900					
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	602	588	ビ ス マ ス	1450	1350	1450	1350					
交 叉 ラ ジ エ タ ー	615	604	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550					
黄 銅 鑄 物	672	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	500	480	500	480					
山 送 り (55%)	370	—	ア ル ミ 地 金 99.70 %	370	366	372	368					
上 青 銅 鑄 物	831	—	ア ル ミ 二 次 地 金 99 %	305	300	305	300					
並 青 銅 鑄 物	829	818	〃 90 %	263	258	263	258					
上 青 銅 鑄 物 削 粉	824	—	ア ル ミ 二 次 合 金 ADC12	417	412	420	415					
並 青 銅 鑄 物 削 粉	814	803	鑄 物 用 C2BS	442	437	444	439					
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1059	青 銅 合 金 地 金 3 種	1630	1620	1640	1630					
〃 (鑄 物)	945	—	〃 6種	1320	1310	1330	1320					
リ ン 青 銅 削 粉	863	856	ハ ン ダ 錫 60 %	3010	2970	3030	3000					
新 切 洋 白 (電 子 材)	875	863	〃 50 %	2600	2550	2620	2590					
新 切 亜 鉛	253	253	〃 40 %	2250	2190	2205	2175					
ダ イ カ ス ト く ず	218	218	減 摩 合 金 2 種	4370	4340	4375	4345					
亜 鉛 ド ロ ス	196	207	〃 4 種	3715	3690	3720	3690					
上 鉛	140	138	〃 7 種	1250	1200	1250	1200					
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	25	25	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		75	75					
活 字 鉛	125	122		〃 ダライ粉		60	60					
新 切 ア ル ミ 1 級	242	244		高耐食ステンレスSUS316		210	210					
新 切 サ ッ シ 1 級	242	242		耐熱ステンレスSUS310		365	365					
新 切 合 金 1 級	227	222		13クローム 新切		◎ 21	24					
機 械 鑄 物 1 級	155	162		ハ イ ス 9種		220	220					
ピ ス 付 サ ッ シ P	183	180										
合 金 削 粉 P	100	105										
込 ガ ラ P	95	97										
カ ン ・ バ ラ	160	161										



非鉄金属材料相場面

PW:nikkin202209